

山内金属の銅板表面処理

硫化加工



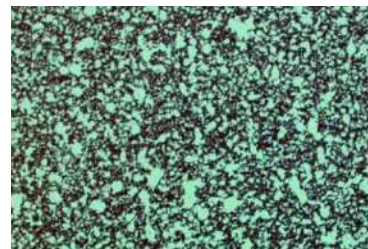
硫化加工について

(はやぶき 175 型着色例)

約 30 年経過

山内金属の硫化加工は特殊水溶液を用いて、銅板の表面を人工的に黒褐色の銅板に酸化させた化学発色の着色法です。ミガキ銅板と同様に雨水や大気などの影響を受け、徐々に変化を伴いながらも将来的には天然緑青に移行する表面処理法です。その皮膜は非常に薄く、曲げ加工などにより傷や剥離が発生することがありますが徐々に同じ色調に揃います。

硫化緑青塗装



硫化緑青塗装について

(はやぶき 175 型着色例)

約 20 年経過

硫化緑青塗装は硫化加工後に緑青色の散らし吹きにより、さらに風合いを高めた着色法です。

注意事項

1. 本表面処理は焼付塗装と違い、その地域の環境により様々な経年変化を伴いながら最終的に天然の緑青に変化します。
2. 本表面処理は弊社屋根材「はやぶき」「魁」「シャダンルーフ 12/20」にて着色が出来ます。
3. 銅板 365x1212 及び 455x1212 の板材での着色も可能です。但し着色の性質上ハゼ加工による表面の剥離が発生する場合がありますので、ご理解ください。
4. 腰葺きや額葺きを施工した場合、瓦の構造的影響により局部的に皮膜が還元し、銅板生地が露出する場合があります。
5. 印刷物と実物とは多少色味が異なる場合がありますので、あらかじめご了承ください。
6. 本表面処理はハンドメイドのため多少のバラつきが発生しますので、あらかじめご了承ください。